

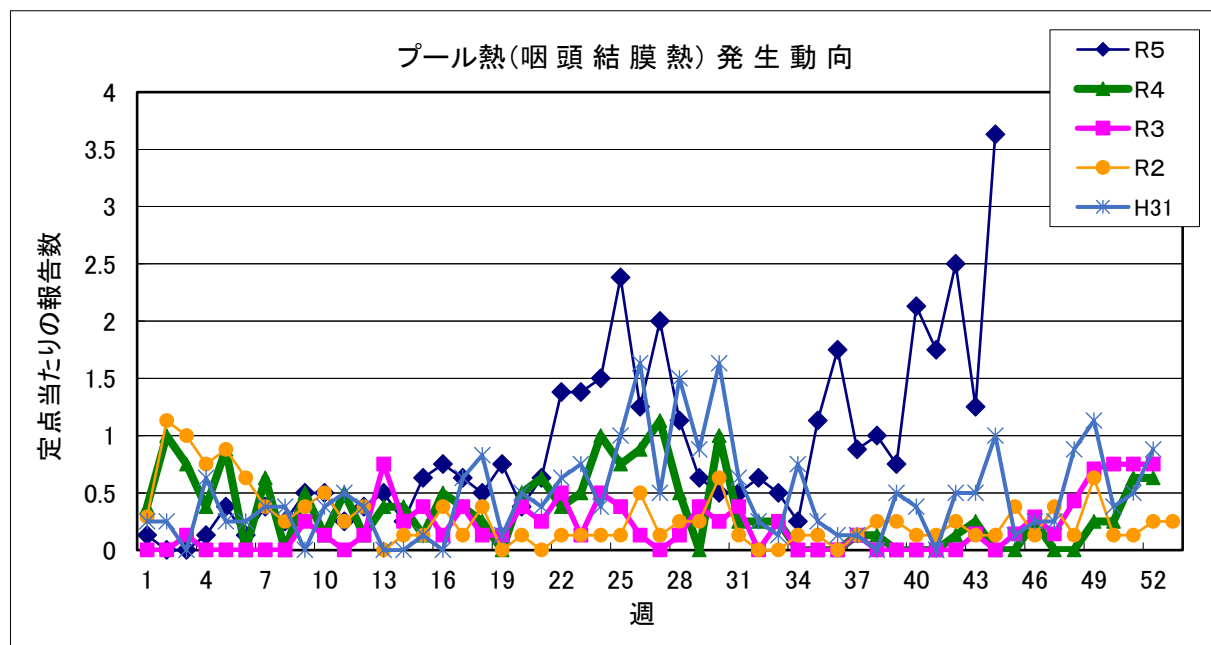
# 旭川市内における咽頭結膜熱（プール熱）の警報発令について

令和5年11月7日(火)  
旭川市保健所健康推進課  
直通 25-9848

本市の感染症発生動向調査において、咽頭結膜熱（プール熱）の流行が警報発令の基準値を超えましたのでお知らせします。

## 1 旭川市内の咽頭結膜熱の流行状況

本市の感染症発生動向調査によると、咽頭結膜熱については、令和5年第44週（10月30日～11月5日）に、1定点当たりの報告数が3.63に達し、流行発生警報の基準値（1定点当たり3.0）を超えました。（旭川市の定点医療機関数：8医療機関）



※流行発生警報：基準値 3，継続基準値 1

## 2 咽頭結膜熱（プール熱）とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスと呼ばれるウイルスが原因となり、プールを介して流行することが多いことからプール熱とも呼ばれています。例年、6月頃から徐々に増加し始め、7月から8月頃が流行のピークとなることが多いですが、本年においては全国的に秋以降の流行が報告されています。

症状は、発熱（38℃～39℃）、咽頭炎（のどの痛み）、結膜炎（目の炎症）などがあります。気になる症状がある時は、早めに医師に相談してください。

## 3 咽頭結膜熱を予防するには

咽頭結膜熱の感染経路は、接触感染や飛沫感染です。

予防には、次のことに注意する必要があります。

- (1) 流水や石けんによる手洗い，うがいを励行する。
- (2) 感染者との密接な接触は避ける。
- (3) タオルなどを共有したり，触れた物を介して感染することがありますので共用はできるだけ避けましょう。

#### 4 咽頭結膜熱にかかってしまったときは

咽頭結膜熱は、高熱が比較的長く（5日前後）続くことがあります。ほとんどは自然に治りますが、症状が辛い時は早めを受診して治療を受けましょう。また、こまめな水分補給で脱水を予防するよう心がけてください。

#### 5 保健所の対応

保育所、幼稚園、小学校に対する情報提供、注意喚起を行います。

##### 〔参考〕（注意報・警報とは）

厚生労働省・感染症発生動向調査事業の一環として、小児科定点を受診した定点把握対象疾患患者数を週ごとに把握、集計し、過去の発生状況をもとに基準値を設け、保健所ごとにその基準値を超えると警報が発令されるシステムで、警報は、大きな流行の発生、継続が疑われることを示します。

プール熱の警報は、1 定点当たりの受診患者数が 3. 0 を超えると発令され、警報発令後は 1. 0 を超えると警報が継続されます。

全国のプール熱流行状況は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページで御覧になれます。

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) 全道のプール熱流行状況は、北海道感染症情報センターのホームページで御覧になれます。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)